

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	現在「ひまわり通信」を毎月記録しているがご家族へは発行していない	毎月の家族への手紙の中に「ひまわり通信」を同封してひまわりでの行事や入居者の様子を知ってもらう。	運営推進会議への参加の家族の方、または面会時に、顔写真が写っていても発行していいかの同意を得て、同意を得たら発行する。全員の同意が得られない場合は利用者の顔写真は控える。	6ヶ月
2	33	重度化時の指針があいまいである。その都度主治医と家族との話し合いで決めているが、正式な文章がなく同意を得ていない	重度化時の指針の作成を行なう。家族への説明を行ない同意を得る。	重度化時の指針の作成を行なう。入居時や、現在入居している方へは面会時に説明して改めて同意書を頂く。	6ヶ月
3	45	現在入浴は4日目に一度入浴日となっている。入浴回数が少ない。又ハード面で車椅子の方を浴槽に入れる事が困難でシャワー浴のみとなっている(2人)	入浴の回数を多くする。シャワー浴の方を浴槽に入れるよう支援する。	毎日月～土迄入浴日とする。1日人の入浴を行い、診察や行事でその日に入浴できなかった場合は翌日への変更して、いつでも優良く出来るようにする。ゆったりとした気分でお風呂に入れるようにする。又シャワー浴2人の方へは、併設病院や併設施設へ協力を得て特浴をお借りして浴槽へ入れるようにする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。